

## 《化粧品原料の革新を支援するいくつかの規定》が実施され、新原料と製品が同時に申請された

2025年2月に国家薬監局は《化粧品原料の革新を支援するいくつかの規定》を発表し、2025年6月に実施段階に入り、新原料と関連製品の同時申請を許可し、優先的に審査するルートを設置し、届出周期を1-3カ月から15営業日（青島自由貿易区試験など）に短縮した。

新たに企業が天然油脂（例えばスクワラン）、植物抽出物（例えばベルガモット茶）などの成分を開発することを奨励し、2025年4月に唇ケアの新製品登録数が急増し、ケア、シワ防止効果を含む製品の割合が上昇した。

政策は原料の革新的転化を加速させ、若者の「正確な効果」「きれいにするスキンケア」に対するニーズ（例えば唇のしわが薄くなる、敏感肌専用）に合致する。企業は同時に申請することができ、新製品の発売周期を短縮することができる。例えば華熙生物のヒアルロン酸誘導体、Botaneeの植物抽出物はすでにスピード登録されている

## 《化粧品安全リスクモニタリング・評価管理弁法》が 8月施行、子供向け化粧品の監督管理強化

《化粧品安全リスク監視・評価管理弁法》によると、2025年8月1日から、国家薬監局は子供向け化粧品中のアレルギーを起こしやすい成分（例えば防腐剤、香料）、及び違法添加物（例えばホルモン）などを重点的に監視することを要求している。新しい規則では、子供向け製品には“全年齢層に適用”または“3歳以下の乳幼児”を表示する必要があり、企業は子どもの肌に対する安全評価データを提出する必要があることを明確に規定している。

政策は子供向け化粧品の細分化市場の規範化を推進し、「成分党」の若い親の需要に合致する。例えば、Botanee傘下の子供向けブランド「WINONA Baby」はすでに目に沁みない処方、有機認証原料に取り組んでおり、2025年のQ 2の登録数は前年同期比120%増加した。企業と子ども病院が協力して臨床試験を展開し、「第三者機関の認証+医師のお墨付き」により信頼度を高めることを提案する。

## 国産一般化粧品の届出“ネガティブリスト”が簡略化され、マイナー品目が爆発

2025年6月、国家薬監局は届出プロセスを調整し、“アラントイン”“苦参の根抽出物”などの伝統成分の冗長検査を廃止し、企業が自主的に安全性を承諾できるようにした。

政策配当の下で、男性スキンケア（届出数87%増）、男性カラーメイク（120%増）、ペット用美容用品（200%増）などのマイナー商品が台頭し、例えば「理然MAKESENSE」の男性向け素顔乳液のQ 2の届出量は千を超えた。

若者層の個性化されたニーズが活性化し、“男性経済”、“萌経済”が新たな成長分野となっている。企業には細分化されたシーン（例えば“8時出勤用5分通勤メイク”）に注力し、届け出プロセスの簡素化を利用し、迅速に新商品のテストを行うを提案する。例えばオンライン薬品販売プラットフォームと提携して“インスタントメイク”緊急セットを発売し、22~28歳のオフィスで働く若者層を取り込む。

## TikTok生活サービスは化粧品・パーソナルケアブランドに手数料無料のサポートを提供し、若者の消費を刺激している

2025年4月29日、TikTokは化粧品・パーソナルケアの有名ブランドに対し、手数料無料ポリシー（12月31日まで）を発表し、新規参入の優良店舗にはトラフィック1対1のインセンティブを提供する。データによると、政策の影響で唇ケア製品の届出件数が600件を超え、TikTokでは“朝C夜A”“オイルでスキンケア”等の若者向けトピックの再生回数が月に30%増加している。

手数料を免除し、ブランドのオンラインでの試行錯誤コストを下げ、若年層（18~25歳はTikTokのメイクユーザーの45%を占める）はコア受益者となる。ブランドはプラットフォームの“ローカルプッシュ”ツールを利用し、Z世代に接触することを提案する。例えば大学KOCと共同で“寮スキンケア”シーンの内容を構築する。